

令和 7 年度滝沢市内各種環境調査業務

自動車騒音常時監視業務

報 告 書

2026 年 3 月

滝 沢 市
エヌエス環境株式会社

< 目 次 >

1. 業務目的	1
2. 業務概要	1
3. 成果品	1
4. 使用した図書及び基準等.....	2
5. 面的評価に用いたシステムの概要.....	2
6. 評価対象路線・評価区間.....	3
7. 業務内容	7
7-1. 計画・準備	8
7-2. 調査	8
7-3. 面的評価支援システム入力・設定.....	8
8. 現地調査方法	9
8-1. 騒音発生強度及び残留騒音.....	9
8-2. 車種別交通量及び走行速度.....	9
9. 現地調査結果	10
9-1. 騒音測定地点及び調査年月日.....	10
9-2. 騒音発生強度及び残留騒音.....	13
9-3. 車種別交通量及び走行速度.....	14
10. 面的評価結果	15
10-1. 評価区間全体.....	15

1. 業務目的

滝沢市内における主要幹線道路について、騒音規制法第 18 条第 1 項の規定に基づき、自動車騒音の状況を常時監視することを目的とした。

環境省水・大気環境局モビリティ環境対策課が配布する面的評価支援システムを使用し、「騒音に係る環境基準の評価マニュアル」（平成 27 年 10 月環境省）及び「騒音規制法第 18 条の規定に基づく自動車騒音の状況の常時監視に係る事務の処理基準について」（平成 23 年 9 月 14 日付け環水大自発 110914001 号環境省水・大気環境局長通知）に沿った評価対象路線の環境基準の達成状況を把握し、今後の総合的な道路環境の各種施策への反映を図ったものである。

2. 業務概要

業 務 名：令和 7 年度滝沢市内各種環境調査業務 自動車騒音常時監視業務

工 期：（自）令和 7 年 7 月 3 日

（至）令和 8 年 3 月 19 日

委 託 者：滝沢市長

受 託 者：エヌエス環境株式会社盛岡支店

3. 成果品

本業務における成果品を表-1 に示す。

表-1 成果品一覧

業務項目	サイズ	部 数	備 考
1 報告書	A4 紙	1 部	
(1) 業務報告書	〃		
(2) 自動車騒音常時監視実施計画	〃		環境省様式により、実延長を記入。
(3) 自動車騒音常時監視結果報告	〃		令和 7 年度自動車騒音常時監視結果報告要領（環境省水・大気環境局）の様式に準じた。
(4) 詳細図 （騒音測定地点の平面図・横断図）	〃		
(5) 環境 GIS フォーマット	CD-ROM		
2 システム		1 式	
(1) オブジェクト及びデータベース	CD-ROM		

注）1 の(1)から(4)については、同様の内容が記録された CD-ROM を 1 部提出。

4. 使用した図書及び基準等

本業務は、仕様書によるほか以下に示す関係法令等に基づいて行った。

- ・環境基本法（平成 5 年 11 月 19 日 法律第 91 号）
- ・騒音規制法（昭和 43 年 6 月 10 日 法律第 98 号）
- ・「騒音に係る環境基準について」（平成 10 年 9 月 30 日 環境庁告示第 64 号）
- ・「騒音規制法第 18 条の規定に基づく自動車騒音の状況の常時監視に係る事務の処理基準について」（平成 23 年 9 月 14 日 環水大自発 110914001 号）
- ・騒音に係る環境基準の評価マニュアル（平成 27 年 10 月 環境省）
- ・自動車騒音常時監視マニュアル（平成 27 年 10 月 環境省）

5. 面的評価に用いたシステムの概要

本業務で使用した面的評価支援システム等のバージョンを表-2 に示す。

表-2 面的評価支援システム等のバージョン

種類・名称	バージョン	備 考
GIS エンジン	ActiveMap is for.NET Ver2.29	令和 7 年 7 月公表 (Windows11 対応)
面的評価支援システム	Ver5.3.0	令和 7 年 7 月公表
支援システム用データ	Ver5.2.0	令和 6 年 1 月公表
操作マニュアル	Ver5.3.0	令和 7 年 7 月公表
地図データ	Zmap-TOWNⅡ（岩手県滝沢市）	2013（平成 25）年版
道路交通センサス	令和 3 年度版	令和 5 年 6 月公表

6. 評価対象路線・評価区間

滝沢市内における評価対象路線及び評価区間を、表-3 及び図-1～3 に示す。

今年度面的評価を実施した区間は、3 路線 4 区間である。なお、滝沢市の自動車騒音定
点観測データ（令和 7 年度一般道路騒音等調査業務）2 地点分を騒音推計に使用した。

表-3 評価対象路線及び評価区間

一連 番号	評価区間番号	路線名	車 線 数	始点住所	終点住所	評価区 間の延 長(km)	指定最 高速度 (km/h)	道路 種別	道路 構造	遮音 壁等 の有 無	低騒 音舗 装の 有無	騒音発 生強度 の把握	今年 度評 価区 間
1	2021-170-1	東北自動車道	4	鶴飼下高柳	鶴飼大緩	0.7	100	1	2	1	1	1	●
2	2021-10310-1	一般国道4号	4	巣子	巣子	0.8	60	3	1	0	1	2	
	2021-12070-1	一般国道46号	住居等が存在しないため、評価対象外(住居等が存在した場合、評価対象)										
3	2021-12080-1	一般国道46号	4	大釜大畑	大釜竹鼻	0.6	60	3	1	0	1	1	
4	2021-40630-1	主要地方道盛岡環状線	2	篠木黒畑	篠木明法	0.8	50	4	1	0	1	2	
5	2021-40630-2	主要地方道盛岡環状線	2	鶴飼御庭田	鶴飼八人打	0.3	50	4	1	0	0	1	
6	2021-40640-1	主要地方道盛岡環状線	2	下鶴飼	鶴飼先古川	1.0	50	4	1	0	1	1	●
7	2021-40640-2	主要地方道盛岡環状線	2	鶴飼迫	鶴飼洞畑	0.6	50	4	1	0	1	1	
8	2021-40640-3	主要地方道盛岡環状線	2	土沢	土沢	0.1	50	4	1	0	1	1	
9	2021-40650-1	主要地方道盛岡環状線	2	狼久保	野沢	1.9	40	4	1	0	0	2	○
10	2021-60380-1	一般県道大釜停車場線	2	篠木明法	大釜竹鼻	0.9	40	4	1	0	0	4	
11	2021-61510-1	一般県道盛岡滝沢線	4	穴口	鶴飼諸葛川	0.4	40	4	1	0	0	2	○
12	2021-61510-2	一般県道盛岡滝沢線	2	鶴飼諸葛川	鶴飼下高柳	0.2	40	4	1	0	0	1	
13	2021-61510-3	一般県道盛岡滝沢線	2	鶴飼下高柳	鶴飼年毛	0.5	40	4	1	0	0	1	
14	2021-61510-4	一般県道盛岡滝沢線	2	鶴飼八人打	鶴飼八人打	0.2	40	4	1	0	0	1	

- (注) 1. 道路種別:1 高速自動車道、3 一般国道、4 県道(主要地方道も含む)
2. 道路構造:1 平面、2 盛土
3. 遮音壁の有無:0 無し、1 有り
4. 低騒音舗装の有無:0 無し、1 有り
5. 表中の騒音発生強度の把握に示す数値は、以下のとおりである。
1:騒音発生強度及び残留騒音を把握する区間
2:「一般道路騒音等調査業務」の騒音実測値(隔年測定)を騒音発生強度とする区間
4:交通量が僅少の為環境基準達成とする区間
6. 表中の今年度評価区間に示す記号は、以下のとおりである。
●:騒音発生強度及び残留騒音を把握する区間
○:「一般道路騒音等調査業務」の騒音実測値(隔年測定)を騒音発生強度とする区間
△:交通量が僅少の為環境基準達成とする区間

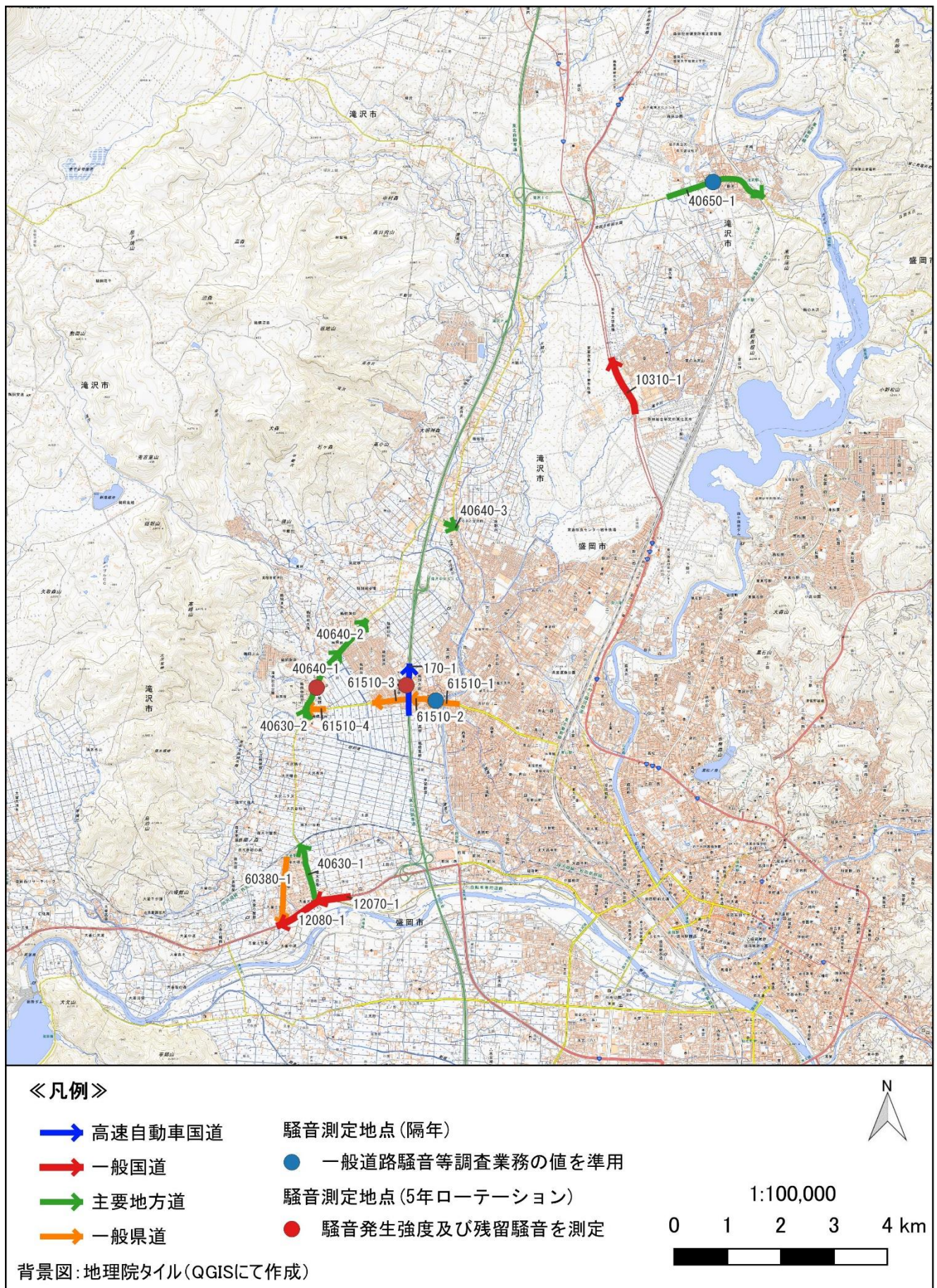


図-1 評価対象区間位置図(全体図)



図-2 評価対象区間位置図(拡大図-1)

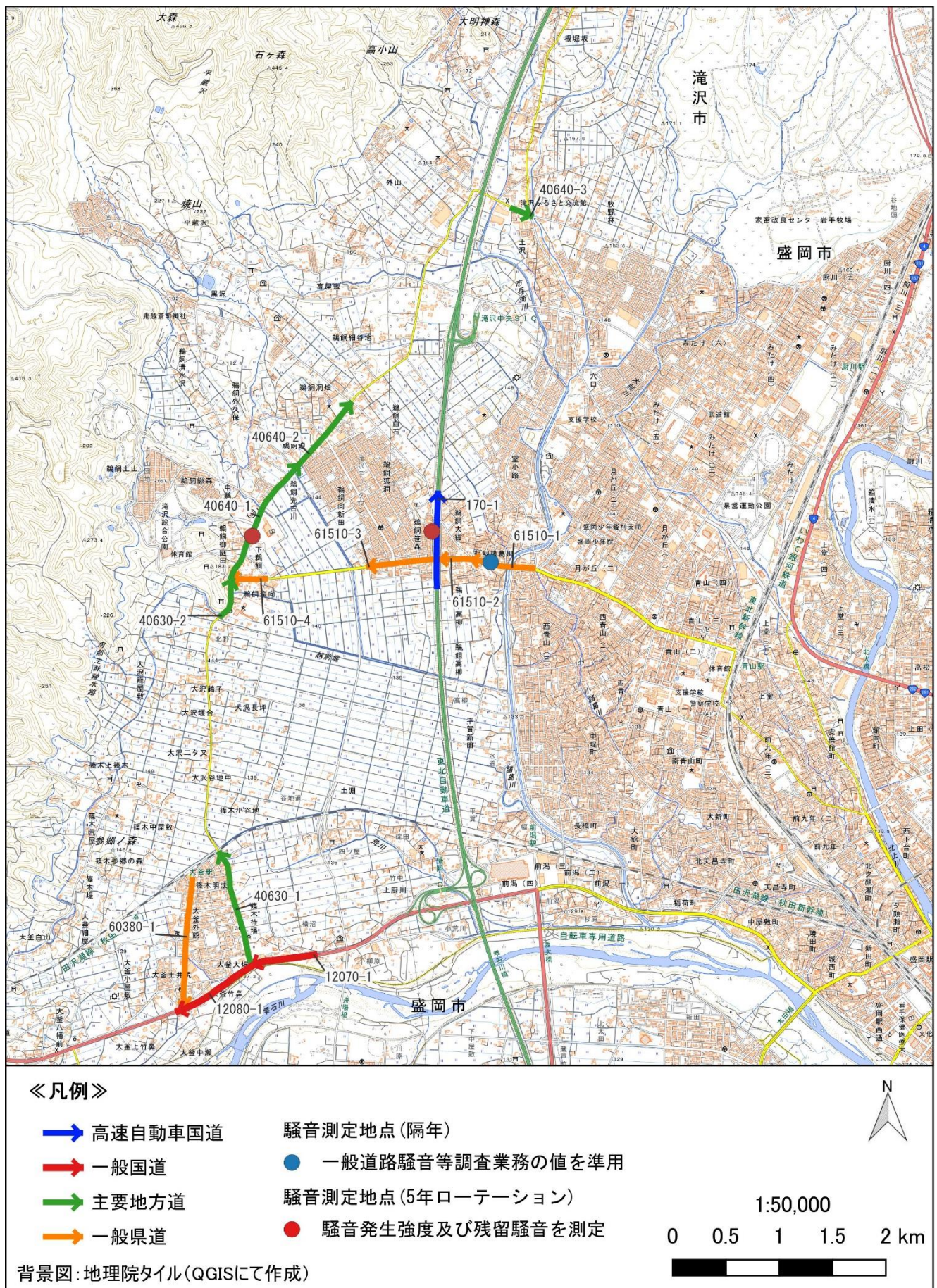


図-3 評価対象区間位置図(拡大図-2)

7. 業務内容

本業務の業務フローを、図-4 に示す。

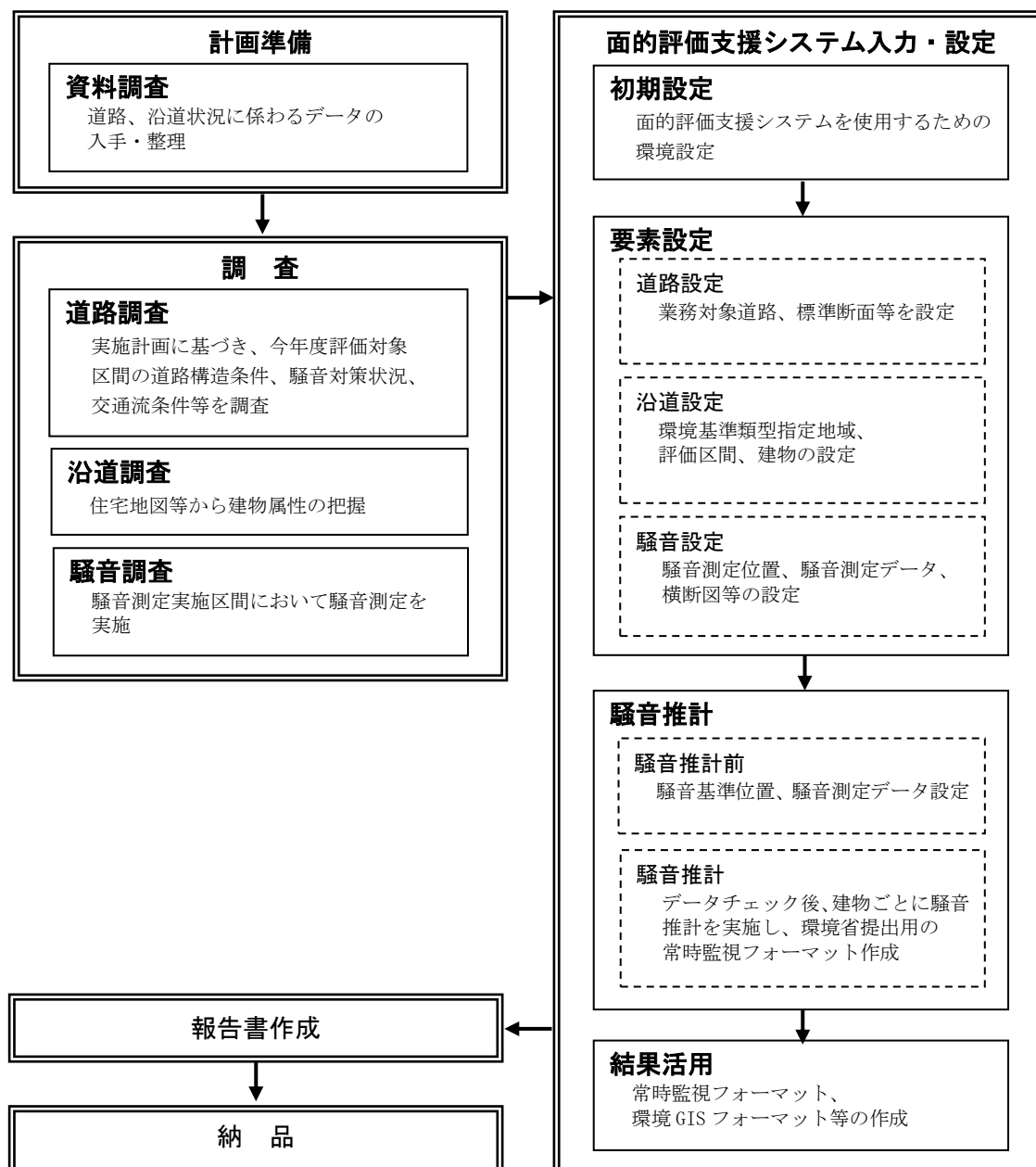


図-4 業務フロー

7-1. 計画・準備

本業務の目的及び主旨を把握したうえで、資料調査により道路、沿道状況に係わるデータの入手・整理を行った。

7-2. 調査

(1) 道路調査

実施計画に基づき、今年度の評価対象区間について、道路構造条件・騒音対策状況・交通流条件等を調査してとりまとめた。

(2) 沿道調査

住宅地図等から建物属性の把握を行った。

(3) 騒音調査

今年度の評価対象区間のうち、騒音実測区間の各1地点で騒音測定を実施した。また、詳細な測定地点については、現地踏査を行った上で、発注者と協議して決定した。

7-3. 面的評価支援システム入力・設定

(1) 初期設定

使用者の登録、評価のための基準、各種オブジェクトの表示色・範囲等の設定を行った。

(2) 要素設定

① 道路設定

道路平面線形要素、標準断面、道路交通センサス区間の設定を行った。

② 沿道設定

市区町村エリア、都市計画用途地域、環境基準類型指定地域、評価区間、道路端、道路に面する地域、距離帯、近接空間及び建物の設定を行った。その後、印刷用メッシュ及び現地調査データを作成した。

③ 騒音設定

騒音測定地点、騒音測定データの設定を行った。

(3) 騒音推計

① 騒音推計前

騒音基準位置、騒音レベルを設定し、表示用レイヤを作成した。

② 騒音推計

データチェック（オブジェクト・関係データ・帳票データの関連付けのチェック処理）を行い、沿道情報、データ照査・緒元は、面的評価支援システムの画面表示で確認し、

騒音推計を行った。

騒音推計後、常時監視フォーマット、一括表示レイヤ（騒音暴露状況・環境基準達成状況・騒音レベル等高線図・騒音レベル減衰横断図等）を作成した。

(4) 結果活用

常時監視報告書、常時監視フォーマット、環境 GIS フォーマットを作成した。

8. 現地調査方法

現地調査は、「騒音に係る環境基準について」（平成 10 年 9 月 30 日環境庁告示第 64 号）及び「自動車騒音常時監視マニュアル」（平成 27 年 10 月 環境省）に準拠した。

8-1. 騒音発生強度及び残留騒音

(1) 測定機器及び測定条件

測定機器は、計量法第 71 条に合格した騒音計を使用した。なお、測定高さは、地上 1.2m とし、周波数補正回路は「A 特性」とした。

(2) 測定時間及び回数

騒音発生強度（道路交通騒音レベル）は、10 分間の騒音を 24 時間連続で測定した。残留騒音（背後地騒音レベル）は、昼間及び夜間の各 2 観測時間で 10 分以上測定した。

8-2. 車種別交通量及び走行速度

(1) 車種別交通量

車種別交通量は、残留騒音測定と同時に、上下車線別の車種別交通量を測定した。分類する車種は、表-4 に示す車種分類とした。

表-4 車種分類表

車 種 区 分		細 区 分	対応するプレート番号
大 型 車	I	普通貨物車 特種用途車 乗合自動車	大型番号標 1、10～19、100～199 8、80～89、800～899 2、20～29、200～299
		特殊車	番号標 9、90～99、900～999 0、00、000
	II	普通貨物車 特種用途車 乗合自動車	小型番号標 1、10～19、100～199 8、80～89、800～899 2、20～29、200～299
小 型 車		上記以外のプレート番号で二輪車を除く車両	
二 輪 車		自動二輪車、原動機付自転車	

備考）大型車Ⅱの特種用途車は、改造前の自動車が小型車と同程度の大きさの場合は、小型車としてカウントした。

(2) 走行速度

走行速度は、騒音測定地点付近の上下車線及び車種別の車両速度を、それぞれ5台を目安にスピードガンで測定、もしくは、あらかじめ50m程度の距離を測定し、この間の車の通過時間について測定し、上下車線及び車種別に平均走行速度を算出した。なお、測定は騒音測定と同時に行った。実測時間中の通過台数が少なく、所要の台数に達しない場合は、得られた台数の平均値とした。

9. 現地調査結果

9-1. 騒音測定地点及び調査年月日

現地踏査を踏まえ選定した騒音測定地点及び騒音測定日を表-5及び表-6に示す。また、騒音測定地点を図-5～図-8に示す。

なお、残留騒音レベル（背後地騒音レベル）の不明な地点については、操作マニュアルに基づき、環境基準類型指定地域ごとの一般地域の環境基準値を残留騒音レベルに使用した。

表-5 騒音発生強度（沿道騒音レベル）調査年月日

路線名 [評価区間番号]	路線 番号	車 線 数	騒音測定 地点番号	騒音測定地点住所	環境基準 類型	調査年月日
東北自動車道 [170-1]	1040	4	1	滝沢市鶴飼笹森地内	B	2025年 11月13～14日
盛岡環状線 [40640-1]	16	2	7	滝沢市下鶴飼地内	B	
盛岡環状線 [40650-1]	16	2	10	滝沢市野沢地内	B	2025年 9月16～17日
盛岡滝沢線 [61510-1]	223	4	13	滝沢市鶴飼諸葛川地内	B	

※40650-1及び61510-1は、令和7年度一般道路騒音等調査業務の調査結果を使用した。

表-6 残留騒音（背後地騒音レベル）調査年月日

路線名 [評価区間番号]	路線 番号	車 線 数	騒音測定 地点番号	騒音測定地点住所	環境基準 類型	調査年月日
東北自動車道 [170-1]	1040	4	1	滝沢市鶴飼笹森地内	B	2025年 11月13～14日
盛岡環状線 [40640-1]	16	2	7	滝沢市下鶴飼地内	B	

騒音測定地点番号：1

騒音発生強度把握地点：滝沢市鶴飼笹森地内

残留騒音測定地点：滝沢市鶴飼笹森地内

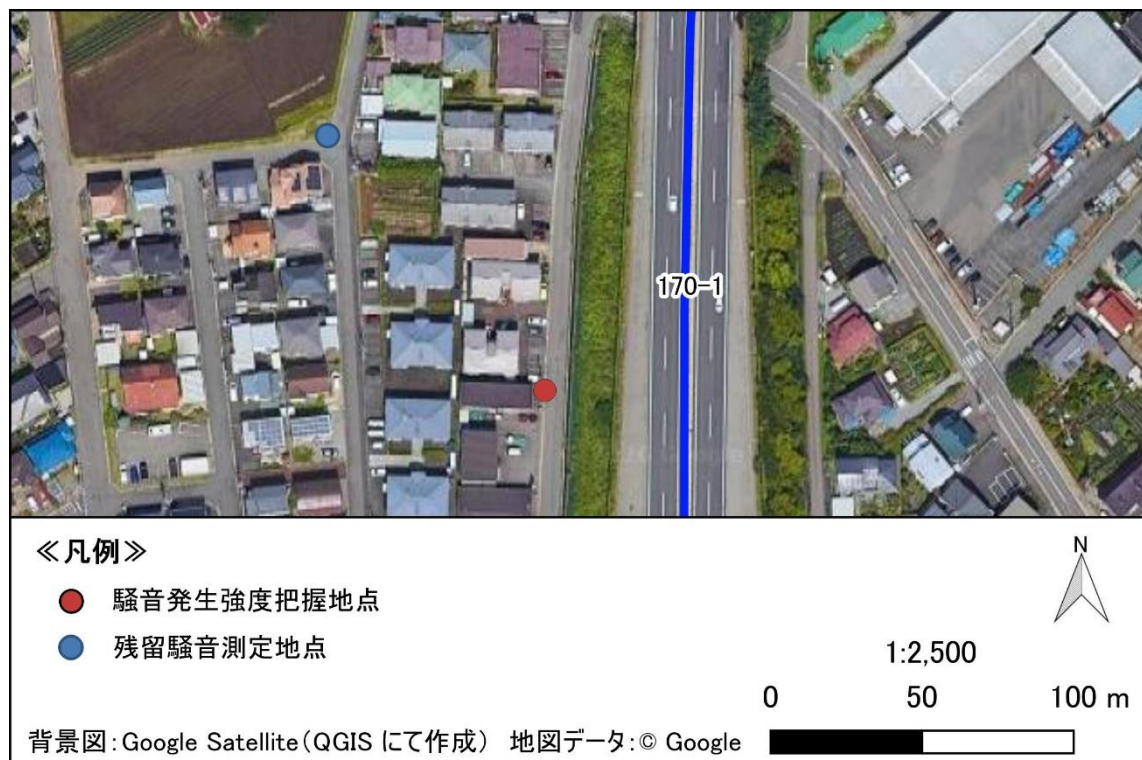


図-5 騒音測定地点位置図（評価区間番号：170-1）

騒音測定地点番号：7

騒音発生強度把握地点：滝沢市下鶴飼地内

残留騒音測定地点：滝沢市下鶴飼地内

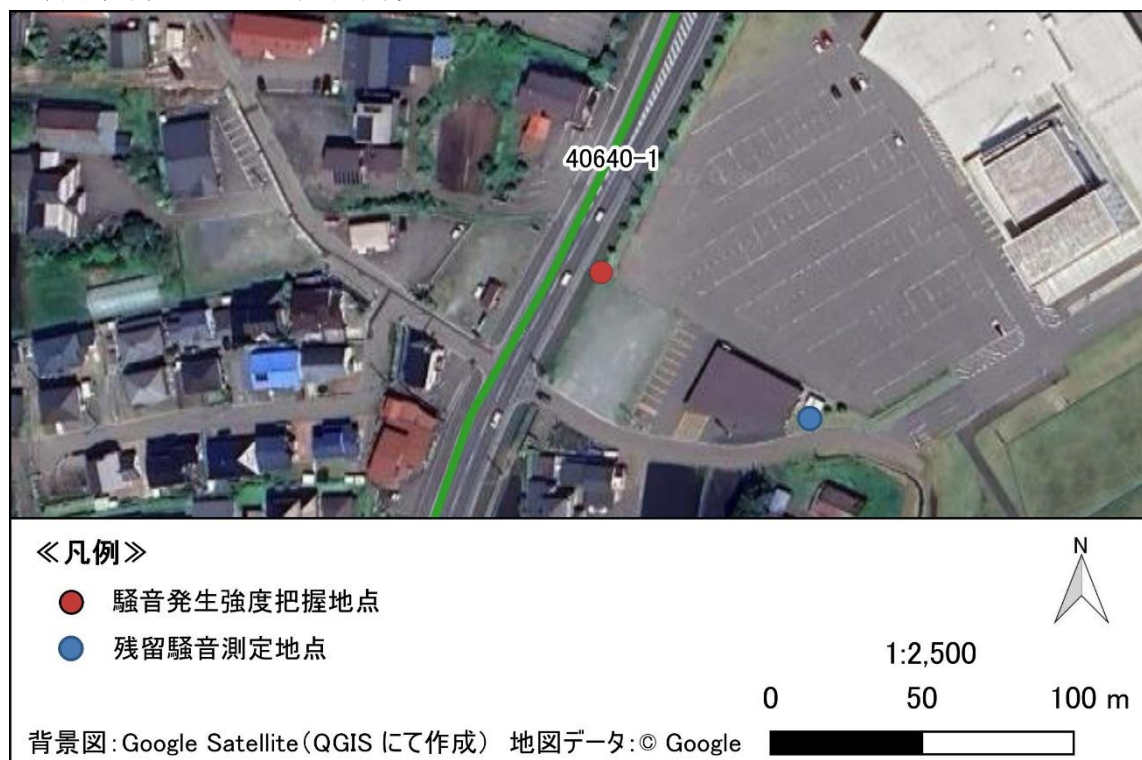


図-6 騒音測定地点位置図（評価区間番号：40640-1）

騒音測定地点番号：10

騒音発生強度把握地点：滝沢市野沢地内



図-7 騒音測定地点位置図（評価区間番号：40650-1）

騒音測定地点番号：13

騒音発生強度把握地点：滝沢市鶴飼諸葛川地内

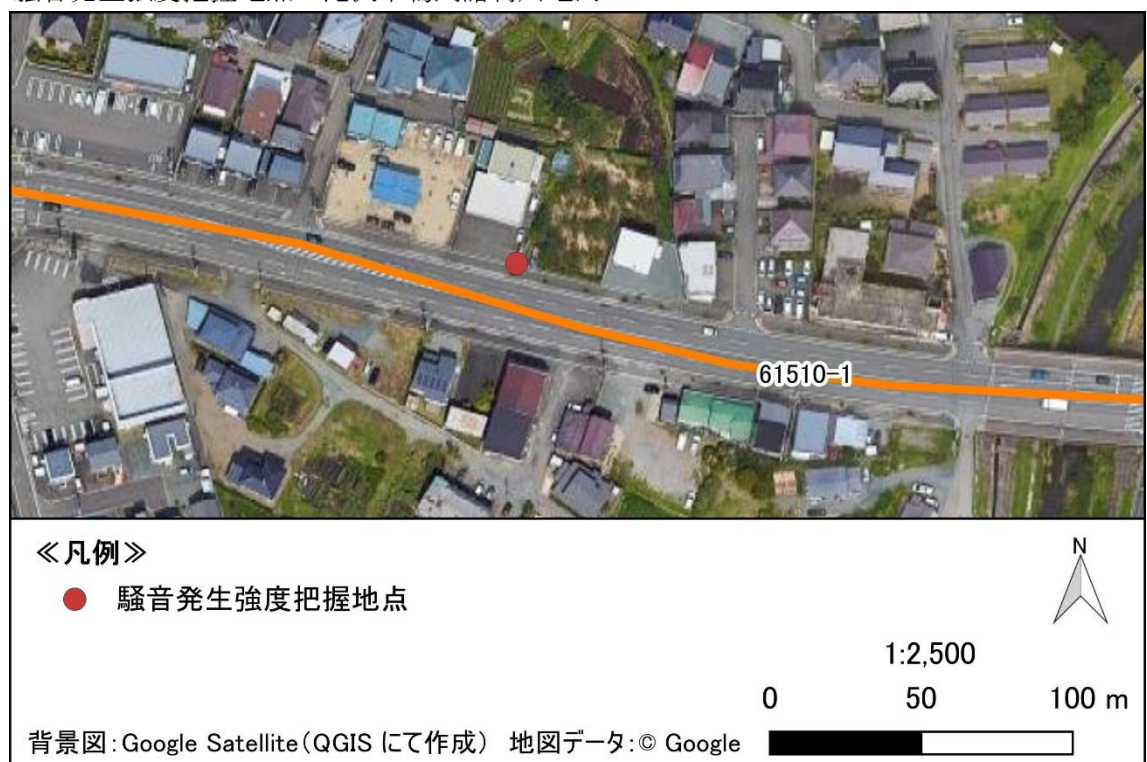


図-8 騒音測定地点位置図（評価区間番号：61510-1）

9-2. 騒音発生強度及び残留騒音

騒音発生強度（道路交通騒音レベル）及び残留騒音（背後地騒音レベル）の調査結果を、表-7 及び表-8 に示す。騒音測定地点の道路構造は表-9 に示すとおりである。

表-7 騒音発生強度（沿道騒音レベル）の調査結果

路線名 [評価区間番号]	騒音測定		時間帯	等価騒音レベル [L _{Aeq}] (dB)	騒音レベル中央値 [L _{A50}] (dB)
	地点番号	住居等からの 距離(m)			
東北自動車道 [170-1]	1	2.5	昼間 (6:00～22:00)	59	54
			夜間 (22:00～6:00)	51	48
盛岡環状線 [40640-1]	7	35.0	昼間 (6:00～22:00)	69	65
			夜間 (22:00～6:00)	62	45
盛岡環状線 [40650-1]	10	9.8	昼間 (6:00～22:00)	63	58
			夜間 (22:00～6:00)	56	46
盛岡滝沢線 [61510-1]	13	9.3	昼間 (6:00～22:00)	66	63
			夜間 (22:00～6:00)	58	43

※40650-1及び61510-1は、令和7年度一般道路騒音等調査業務の調査結果を使用した。

表-8 残留騒音（背後地騒音レベル）の調査結果

路線名 [評価区間番号]	騒音測定地点 番号	時間帯	測定開始時刻	測定時間 (分)	原測定地点の等価騒音レベル [L _{Aeq}] (dB)	背後地の等価騒音レベル [L _{Aeq}] (dB)	背後地の時間率騒音レベル [L _{A95}] (dB)	車道端からの距離 (m)	
東北自動車道 [170-1]	1	昼間	8:30	10	58	56	51	48	64.7
			13:00	10	60	51	45		
		夜間	22:00	10	51	44	40	39	
			23:10	10	50	43	38		
盛岡環状線 [40640-1]	7	昼間	9:00	10	68	49	42	48	62.0
			13:20	10	73	57	54		
		夜間	22:30	10	62	49	35	35	
			23:30	10	59	44	34		

備考）原測定地点とは、道路近傍騒音の測定地点を示す。

表-9 騒音発生強度把握地点の道路構造等

路線名 [評価区間番号]	路線 番号	車 線 数	道路構造	道路面の 種類	遮音壁設置状況	把握地点の 地表面種類	指定最高速度 (km/h)
東北自動車道 [170-1]	1040	4	盛土	排水性舗装	遮音壁あり	アスファルト	100
盛岡環状線 [40640-1]	16	2	平面	排水性舗装	遮音壁なし	アスファルト ・ 固い地面	50
盛岡環状線 [40650-1]	16	2	平面	密粒舗装	遮音壁なし	アスファルト	40
盛岡滝沢線 [61510-1]	223	4	平面	密粒舗装	遮音壁なし	アスファルト	40

9-3. 車種別交通量及び走行速度

車種別交通量及び走行速度の調査結果を、表-10 及び表-11 に示す。

表-10 車種別交通量調査結果

路線名 [評価区間番号]	測定開始時刻	測定時間 (分)	交通量(台/10分間)									大型車 混入率 (%)
			騒音測定側車線				反対側車線				上下線	
			大型車Ⅰ	大型車Ⅱ	小型車	二輪車	大型車Ⅰ	大型車Ⅱ	小型車	二輪車	合計	
東北自動車道 [170-1]	8:30	10	27	17	92	0	16	15	92	0	259	29.0
	13:00	10	7	10	55	0	35	17	53	0	177	39.0
	22:00	10	21	4	11	0	8	5	12	0	61	62.3
	23:10	10	18	3	4	0	10	1	3	0	39	82.1
盛岡環状線 [40640-1]	9:00	10	5	10	48	0	9	6	47	0	125	24.0
	13:20	10	7	11	49	0	2	8	55	0	132	21.2
	22:30	10	1	0	6	0	2	3	5	0	17	35.3
	23:30	10	0	0	4	0	1	0	4	0	9	11.1

表-11 走行速度調査結果

路線名 [評価区間番号]	測定開 始時刻	測定 時間 (分)	平均走行速度(km/h)		当該時間の 等価騒音レベル [L_{Aeq}] (dB)
			騒音測定側車線	反対側車線	
東北自動車道 [170-1]	8:30	10	104	101	58
	13:00	10	105	102	60
	22:00	10	101	102	51
	23:10	10	102	101	50
盛岡環状線 [40640-1]	9:00	10	49	44	68
	13:20	10	45	45	73
	22:30	10	51	52	62
	23:30	10	52	48	59

備考) 測定時間内に走行車がない場合、平均走行速度を「－」とした。

10. 面的評価結果

10-1. 評価区間全体

滝沢市における評価区間全体の環境基準達成率は、99.8%であった。これは、全国の達成率（95.0%）と比較すると、4.8ポイント高い結果であった（表-12 参照）。

道路種類別でみると、滝沢市での環境基準達成率は、高速自動車国道及び一般国道が100%、県道が99.7%であった。令和5年度全国結果と比較して、高速自動車国道では6.9ポイント、一般国道では9.3ポイント、県道では3.2ポイント高い結果であった。（表-13 参照）。

表-12 滝沢市面的評価結果と令和5年度全国面的評価結果の比較（全体）

区分	環境基準達成率：昼夜とも基準値以下		
	全体% (超過戸数/評価戸数)	近接空間% (超過戸数/評価戸数)	非近接空間% (超過戸数/評価戸数)
令和7年度滝沢市	99.8 (3/1,446)	100.0 (0/505)	99.7 (3/941)
令和5年度全国※	95.0	92.1	97.2

※令和5年度自動車交通騒音の状況（令和7年3月 環境省）

備考）戸数及び割合は端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

表-13 滝沢市面的評価結果と令和5年度全国面的評価結果の比較（道路種類別）

区分	道路種類	環境基準達成率：昼夜とも基準値以下		
		全体% (超過戸数)	近接空間% (超過戸数)	非近接空間% (超過戸数)
令和7年度滝沢市	高速自動車道	100.0 (0/228)	100.0 (0/101)	100.0 (0/127)
	一般国道	100.0 (0/82)	100.0 (0/19)	100.0 (0/63)
	県道	99.7 (3/1,188)	100.0 (0/418)	99.6 (3/770)
令和5年度全国※	高速自動車道	93.1	94.3	92.3
	一般国道	90.7	84.6	95.1
	都道府県道	96.5	93.9	98.4

※令和5年度自動車交通騒音の状況（令和7年3月 環境省）

備考1）交差点等で道路が交差する評価区間については住居等戸数が重複している。

備考2）戸数及び割合は端数処理の関係で合計が合わない場合がある。